

支出科目 政務活動費 調査研究費

1 月	年 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
7	18	菓子折費(新居浜市議会 松山市議会)	4,968	4,968
	18	菓子折送料	1,944	6,912
	29	会派視察(新居浜市 松山市)	331,210	338,122
10	18	視察(藤沢市)	800	338,922
		合計	338,922	

政務活動報告書

令和2年2月26日

茅ヶ崎市議会議長
水島誠司様

(会派名) 公明ちがさき

(氏名) 滝口 友美
山崎 広子
菊池 雅介
阿部 英光

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日時	令和元年7月29日～30日
目的地 (視察地)	愛媛県松山市 (行政視察) 愛媛県新居浜市 (行政視察)
政務活動の結果 (別紙のとおり)	



令和2年2月26日

報告者 阿部英光

会派視察報告書

日時 : 令和元年7月29日(月)～30日(火)

参加者 : 滝口友美、山崎広子、菊池雅介、阿部英光

場所 : 1日目 松山市役所会議室
愛媛県松山市二番町四丁目7番地2号

2日目 新居浜市役所会議室
愛媛県新居浜市一宮町一丁目5番1号

視察目的 : 人口減少による地域の弱体化に対する施策として地域ブランドの確立およびシティプロモーション活動を行っている先進市から茅ヶ崎市の今後の施策の参考とする為。

視察項目 : 1日目 愛媛県松山市 行政視察 13:30～15:00
総合政策部シティプロモーション推進課

■都市ブランド確立活動と市ホームページにシティプロモーション特設サイト

「いい・加減。まつやま」について

- (1) これまでの活動の経緯について
- (2) 現在の取り組み内容について
- (3) 特設サイトを設置した効果及び課題について
- (4) 松山市人口減少対策推進条例会議に基づいて実施されている、取り組み・活動事例について

2日目 愛媛県新居浜市 行政視察 10:00～11:30
企画部地方創生推進課

■平成28年および平成29年に行った「Hello! NEW 新居浜」の事業について

- (1) これまでの事業の経緯について
- (2) 具体的な取り組み内容について
- (3) 事業を実施した効果及び課題について
- (4) 地域を活性化させ、お金を生み出している、ハード面/ソフト面それぞれの強みについて
- (5) 本取組を通しての成功事例、失敗事例について

1 日目 行政視察報告

1. 松山市の概要

人口 509,251人 面積 429.40km² (平成31.4.1現在)

産業構造 第1次産業 (3.0%)、第2次産業 (17.3%)、第3次産業 (72.2%)、他 (7.5%)

(H27 国税調査)

観光 道後温泉、松山城、坂の上の雲ミュージアムなど

ブランド まつや農林水産物ブランド (せとか (柑橘)、松山長なす、松山ひじきなど)

2. 都市ブランド確立活動について

(1) これまでの活動の経緯について

■活動前の分析において、松山市と言われてもイメージがわからない、認知度・魅力度が低いなどの課題があった。特に若年層から40代の情報接触度が低かった。

これを受けて、平成23年度に松山市として都市ブランド戦略ビジョンを策定

・目標：全国の人々から「選ばれる都市」の実現

・ブランドメッセージを開発：「いい、加減。まつやま」

→都市ブランド会議、市民ワークショップ、首都圏ふるさとミーティング、Webから

の市民意見募集を通じて松山の真の魅力は何か？について徹底的に掘り下げた。

・ロゴマークの投票：投票率10%うち約半数を獲得し決定

→Webやイベントを通じて認知度向上を図った。

■若年層に響く伝え方や世界に向けた発信のアイテムとして、アニメーションを活用したPRを実施

→松山発のオリジナルアニメーション「マッツとヤンマとモブリさん」

地元出身者の声優やメジャーなアーティストへテーマ曲を依頼など他市との差別化世界へは6言語の字幕で発信など

■令和元年より、移住定住促進事業、都市イメージ向上事業を実施している。

これまでの5年間の成果として

・魅力度、情報接触度および、移住相談、移住者数の件数が向上した。

これにより、各種ランキング (シティブランドランキングなど各種ランキン

2日目 行政視察報告

1. 新居浜市の概要

人口 119,269人 面積 234.50km² (平成31.4.1現在)

産業構造 第1次産業 (1.4%)、第2次産業 (30.8%)、第3次産業 (67.8%)

2. 「Hello! NEW 新居浜」の事業について

(1) これまでの経緯について

◆新居浜市の現状

- ・平成22年から平成27年までに人口は1.5%の減少近隣他市に比べると減少は軽微
- ・住友グループ企業を中心とした産業構造が強固
- ・合計特殊出生率は1.80で日本全体の1.43を大きく上回っている

この現状を元に、平成27年12月に新居浜市総合戦略および、新居浜市人口ビジョンを策定し、2060年の将来目標人口を9万人に設定

目標達成に向けて、市のポテンシャルを最大化するコンセプトを設定

→シティブランド戦略をこれらを実行する有効な手段として実行

(2) 具体的な取り組み内容について

以下のプロセスで推進した。

「調査分析による見える化」→「次世代の職員と構想」→「戦略を描き実現のために計画」→「未来への市民の思いをカタチにする」

- ・市民ワークショップ/市民ヒアリングを開催しSWOT分析

★課題 10代後半、30～40代家族を中心とする転出者が多い為、転出抑制が必要
→市民満足度を上げていく必要がある。

シティブランド戦略のシンボルターゲットとして、新居浜市に住み続けるかどうかの意思を決定する年代へのアプローチ

→ターゲット：「転入者および、20代後半から30代で小さな子供のいるママ」

推進体制

- ・市民：新居浜みらい会議（住民参画を促進）
- ・行政：庁内連絡調整会議（計画にかかわる担当課所で構成し庁内調整など）
- ・行政：庁内職員のスキルアップ（研修等で各種施策の質的向上を図る）

(3) 事業を実施した効果及び課題について

世代や環境の違い別にイベントを企画・実施し、市民目線で新居浜の“あたらしい

何か“を発見してもらった。このイベントの様様や結果を毎月の専門の広報紙を発行全戸配布することで市民への周知拡大を行った。

若者移住（Uターン）を狙った漫画で「東京都暮らし vs 愛媛新居浜暮らし」の新居浜移住時の起業促進や補助金制度などをわかりやすく説明した。

3. 所感

市民参加のイベントや周知活動は、担当職員のモチベーションの高さで盛り上がっていると感じた。企画がいくら立派でも実行担当者のやる気で大きく変わるのがよく分かった。全庁的な活動を推進するにあたり、新居浜は、企画部 地方創生推進課が、全庁的な連携の中心となり、権限も与えられていた。新たな取り組みを推進するには、こういった組織の仕組みは重要であると感じた。また、シティプロモーションの仕掛けにおいても、中途半端な内容では、やっても意味がなく、情報発信においてもボリュームも重要であると感じた。茅ヶ崎市においても今後の人口減少、若者離れが進む前にしっかりとした施策を進める必要があると痛感した。この先進事例も参考にしながら今後も調査・研究し提案して行きたい。

出張旅費計算書

適用	会派視察 (シティブランド戦略、 シティプロモーション戦略) 愛媛県松山市、愛媛県新居浜市		出張者	公明ちがさき 滝口友美、山崎広子、阿部英光			
期間	令和元年 7月29日から 7月30日まで (2日間)		随行者 氏名				
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)	
茅ヶ崎 — 横浜 JR東海道本線	2	1	29.8	980	—	35,440	
横浜 — 羽田空港国内線ターミナル 京浜急行			20.7				
羽田空港 — 松山空港 飛行機			705.0	32,590	—		
松山空港 — 松山市駅 松山空港リムジンバス			7.3	560	—		
松山市駅 — 松山市役所 徒歩			0.4	0	—		
松山市役所 — 松山市駅 徒歩			0.4	0	—		
松山市駅 — 新居浜駅前 伊予鉄道バス(新居浜特急線)			90.0	1,310	—		
新居浜駅前 — 新居浜市役所 新居浜市 送迎			1.8	0	—		
新居浜市役所 — 市役所前 徒歩			0.1	0	—		
市役所前 — 松山市駅 伊予鉄道バス(新居浜特急線)			88.2	1,310	—		
松山市駅 — 松山空港 松山空港リムジンバス			7.3	560	—		
松山空港 — 羽田空港 飛行機			705.0	32,590	—		
羽田空港国内線ターミナル — 横浜 京浜急行			20.7	980	—		
横浜 — 茅ヶ崎 JR東海道本線			29.8		—		
計	2	1	1706.5	70,880	0	70,880	
	日数		単価(円)		金額(円)		
日当	2		2,400		4,800		
宿泊料	1		6,200		6,200		
朝食代	1		1,000		1,000		
夕食代	0		2,000		0		
合計	¥82,880 ×		3人		¥248,640		

宿泊先 東横INN 新居浜駅前
〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町2-4-8
TEL:0897-39-1045

出張旅費計算書

適用	会派視察 (シティブランド戦略、 シティプロモーション戦略) 愛媛県松山市、愛媛県新居浜市	出張者	公明ちがさき 菊池雅介				
期間	令和元年 7月29日から 7月30日まで (2日間)	随行者 氏名					
経路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 横浜 JR東海道本線		2	1	29.8	980	—	35,440
横浜 — 羽田空港国内線ターミナル 京浜急行				20.7		—	
羽田空港 — 松山空港 飛行機				705.0	32,590	—	
松山空港 — 松山市駅 松山空港リムジンバス				7.3	560	—	
松山市駅 — 松山市役所 徒歩				0.4	0	—	
松山市役所 — 松山市駅 徒歩				0.4	0	—	
松山市駅 — 新居浜駅前 伊予鉄道バス(新居浜特急線)				90.0	1,310	—	
新居浜駅前 — 新居浜市役所 新居浜市 送迎				1.8	0	—	
新居浜市役所 — 市役所前 徒歩				0.1	0	—	
市役所前 — 松山市駅 伊予鉄道バス(新居浜特急線)				88.2	1,310	—	
松山市駅 — 松山空港 松山空港リムジンバス				7.3	560	—	
松山空港 — 羽田空港 飛行機				705.0	32,590	—	
羽田空港国内線ターミナル — 横浜 京浜急行				20.7	980	—	35,440
横浜 — 茅ヶ崎 JR東海道本線				29.8		—	
計		2	1	1706.5	70,880	0	70,880
	日 数			単 価(円)			金 額(円)
日 当	2			2,400			4,800
宿泊料	1			5,890			5,890
朝食代	1			1,000			1,000
夕食代	0			2,000			0
合 計	¥82,570 ×			1 人			¥82,570

宿泊先 東横INN 新居浜駅前
 〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町2-4-8
 TEL:0897-39-1045

No. _____ **領 収 証** _____ 年 7 月 18 日

公明ちがえき 殿

金額 ¥4,968

但し 車料代
上記金額正に領収致しました

(有) 湘南菜庵 **鈴**

代表者 内田 諠 郎
茅ヶ崎市平和町 4-32
電話 茅ヶ崎 82-2700

No. _____ **領 収 証** _____ 年 7 月 18 日

公明ちがえき 殿

金額 ¥1,944

但し 送料代
上記金額正に領収致しました

(有) 湘南菜庵 **鈴**

代表者 内田 諠 郎
茅ヶ崎市平和町 4-32
電話 茅ヶ崎 82-2700

No.2374924

領 収 証

客室番号 313 311 411 413

公明ちがえき 様

¥24,490-

但し 宿泊代・駐車代・その他 料金として
2019 年 7 月 29 日 上記正に領収いたしました

現金 カード

収 入 印 紙	内 訳	株式会社 東横イン 藤原浜駅前 〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町2-4-8 TEL 0897-39-1045 FAX 0897-39-1046	担 当
	税抜金額		
	消費税額(%)		

政務活動報告書

令和2年2月23日

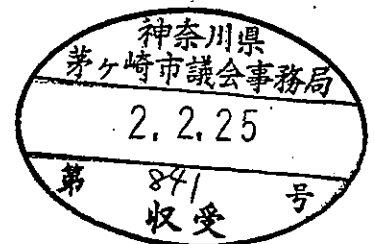
茅ヶ崎市議会議長
水島 誠司 様

(会派名) 公明ちがさき

(氏 名) 菊池 雅介
阿部 英光

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和元年10月18日(金)
目 的 地 (研 修 地)	藤沢市役所(神奈川県藤沢市朝日町1番地の1)
政務活動の結果	別紙のとおり



令和2年2月23日

行政視察報告書

- 日時 : 令和元年10月18日(金)
- 参加者 : 菊池雅介*阿部英光
- 場所 : 藤沢市役所
神奈川県藤沢市朝日町1番地の1
- 視察項目 : 議会報告会・意見交換会(カフェトークふじさわ)の運営について
- 講師 : 藤沢市議会 柳田秀憲広報広聴委員長
- 報告者 : 菊池雅介

(内容)

1. 議会報告会・意見交換会の告知の方法について
 - (1) 市の広報誌
 - (2) 議会ホームページ
 - (3) 報道機関への通知(メディアへの取り組みとしてのプレスリリースによる案内にてケーブルテレビ、タウン誌、地方紙等が取り上げた)
 - (4) 市のフェイスブック
 - (5) 公共機関での案内
 - (6) 市内各所へのポスター掲示

2. 参加人数拡大のための対策について
 - (1) 名称やチラシを工夫して、親しみやすいものにする

- (2) ワールドカフェ形式を採用し、和やかな雰囲気での意見交換を行う
- (3) 藤沢のシビックプライドランキングについて議論を深めるため「藤沢の誇り、愛着度アップ」をテーマにする

3. 各テーブルに配置するメンバーの選考及びテーマの選定方法について

1テーブル議員は2名、私服で一市民として参加。ファシリテーター役の大学生 1名。事前申し込みの市民数名。テーマは建設的な議論となるように、大きなくくりで未来に繋がるものとした。

4. 議会報告会・意見交換会に伴う時間配分の取り決めについて(2018年12月1日開催分)

- (1) 15分 議長あいさつ
- (2) 30分 基調講演(シビックプライドについて:株式会社 読売広告社)
- (3) 5分 説明
- (4) 60分 意見交換
- (5) 40分 発表・講評
- (6) 閉会

5. ファシリテーターとの進行上の留意点について

- (1) 特定の参加者に発言が集中しないように努める
- (2) 市民と議会との間で、対立的なムードにならないように努める
- (3) 市政に対する苦情よりも建設的な議論になるように努める

6. 開催後の市民への報告手段について

- (1) 「カフェトークふじさわ報告書の作成」
 - ・当日回収したアンケートを集計、分析
 - ・当日参加者から出された意見は、班別の記録用紙等をもとに集約
 - ・配布資料、参加者の主な意見、アンケート結果等を合わせて報告書を作成
- (2) 「カフェトークふじさわ報告書の公開」
 - ・広報広聴委員会にてカフェトークふじさわの実施結果を報告

・作成した報告書は、ホームページ公開、各市民センターでの市民供覧を実施

(所感)

茅ヶ崎市議会では、平成23年4月に議会基本条例を施行し、市民の皆さんに対して開かれた議会をめざし、議会活動について積極的に情報提供をするとともに、わかりやすい議会運営を行うように努めている。こうした一環として、議会活動の状況を市民の皆さんにご報告するための議会報告会、意見交換会を開催している。

しかし、開催するに従い運営体制、テーマ設定や進行に対しての課題が明らかになり、改善の必要性が高まった。ある意味大きく舵を切ることは必須であると考えます。

今回、視察させて頂いた「ワールドカフェ」はカフェのようなリラックスした雰囲気の中で、小グループを作り、メンバーをかえながら話し合う手法であるが、進行役のファシリテーターの存在がポイントである。今後、様々な事例を参考にして市民のための議会報告会、意見交換会にして参りたい。

出張旅費計算書

摘要	神奈川県藤沢市役所 議会報告会・意見交換会（カフェト クふじさわ）の運営について （政務活動費）			会派	公明ちがさき		
期日	令和元年10月18日			氏名	菊池 雅介 阿部 英光		
経路	日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金（円）	金額（円）	
茅ヶ崎—藤沢 （JR東海道線）	1	/	7.5	200		200	
藤沢—茅ヶ崎 （JR東海道線）			7.5	200		200	
計	1	-	15.0	400	-	(A) 400	
日当	- 日 × @ -				(B)	-	
合計	(A)+(B) 400				×	2 人	800